

テーマ 発表 最優秀賞に松下氏

若手技術者交流会を開催

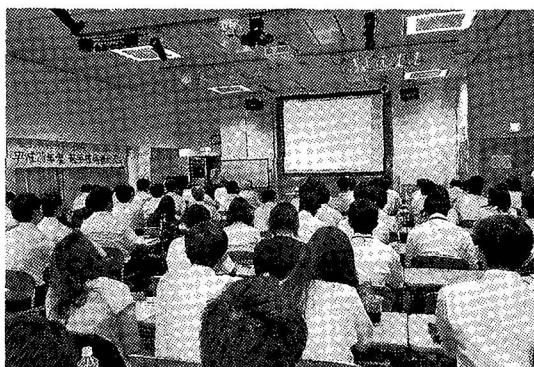
九州建設協会

(一社)建設コンサル
タツ協九州支部(村
島正康支部長)は25日、
福岡市の八重洲博多ビル
で平成28年度若手技術者
交流会「写真」を開催。

会員各社の若手技術者12
人が業務への取り組み姿
勢、技術者像、建設コン
サルタンのあり方等を
テーマに発表、最優秀賞
に松下明哉氏(日本工営

しての自覚・意識を高
め、会社の壁を超えた技
術者交流を深めるため、
平成22年度から実施して
いるもので、インターン
シップの学生22人を含む
約110人が参加。

村島支部長は「我が国
は自然災害が多く、防
災、減災への備えが重要
であり、国民の生命、財
産を守るための社会資本
整備も必要不可欠だ。そ
れらの社会的要請に対す
る現状は充分だとは言え
ないが、若手技術者には
業界を背負う覚悟を期待
するとともに、学生諸君
には働きがいのあるこの
道の選択を望みたい」と
あいさつした。



(株福岡支店)
が輝いた。
総務企画部
会(大和則夫
部会長)の企
画委員会(池
田好克委員
長)が、建設
コンサルタン
ト業界を背
負っていく若
手社員の人的
ネットワーク
の拡充やコン
サルタントと

審査の結果、松下氏の
「MMS計測を活用した
堤防管理」が最優秀賞を
受賞。原田あゆ子氏(応
用地質(株)九州支社)の
「調整池内遺跡の保存状
況確認のためのモニタリ
ング」、片山花氏(第一
復建(株))の「熊本震災業
務を経験して」も優秀賞
に選ばれ、それぞれ懇親
会で表彰された。

発表会では、各自が体
験等をもとに工法や各種
調査検討業務、熊本震災
などへの取り組み、技術
者として目指す将来像、
建設コンサルタンの役
割等々について熱く語
り、それに伴う質疑応答
もみられた。また、支部
活動の一環として、女性
技術者交流会推進委員
会の岩根陽子委員長が、女
性技術者交流会の活動を
紹介した。